

医療機能情報提供制度の全国統一システムへの移行に関わる、障害者団体の意見

2023年10月24日 日本障害フォーラム（JDF）幹事会における厚生労働省との意見交換

日本障害フォーラム（JDF）代表 阿部 一彦

<アクセシビリティに関すること>

- ・システムのアクセシビリティについては、ウェブアクセシビリティに関する JIS 規格に基づくほか、デジタル庁による「ウェブアクセシビリティ導入ガイドブック」等も参照いただきたい。
- ・医療機関の連絡先メールアドレスは示されるとのことだが、そのメールで予約や相談ができるとよい。
- ・医療機関の写真も見られるとよい（バリアフリーの確認のため）
- ・「多機能トイレ」については、国土交通省では「バリアフリートイレ」の語を使用している。用語の統一をしてはどうか。

<各障害者への対応に関すること>

- ・「聴覚障害者（手話対応）」とあるが、相談なども含めて十分な対応がされるのか、実際には分からない。より詳しい情報を望む。
- ・聴覚障害者、視覚障害者、車椅子利用者へのサービスについては項目があるが、知的障害者、精神障害者など幅広い障害者への対応状況についても情報提供が必要だ。幅広い下肢障害者のため「車椅子利用者等」という言い方も検討すべきだ。

<システムの運用等と今後のフォローアップに関すること>

- ・医療機関の情報は刻々と変わるので、それがリアルタイムで反映できるとよい。
- ・システム公開後も、実際の使い勝手について意見を出せるようにしてほしい。

<その他>

- ・精神科病院に関する情報については、精神保健福祉資料（630調査）の情報とも連動しているとよい。
- ・医療機関の情報のほか、自分がどの診療科を受けるのがいいかといった情報も知りたい。

参考：

日本障害フォーラム（JDF）



日本身体障害者団体連合会
日本視覚障害者団体連合
全日本ろうあ連盟
日本障害者協議会
D P I 日本会議
全国手をつなぐ育成会連合会
全国脊髄損傷者連合会
全国精神保健福祉会連合会
全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
全国盲ろう者協会
全国社会福祉協議会
日本障害者リハビリテーション協会
全国「精神病」者集団

● 設立の経緯と目的 ●

JDF は、「アジア太平洋障害者の十年（1993-2002）」最終年事業の実施にあたって国内の主要な障害者団体・関係団体が幅広く連携したことが契機となり、準備会としての活動を経て、2004年10月に正式に設立されました。

JDF は、障害者団体を中心として連携し、「アジア太平洋障害者の十年（第四次十年が2023年から開始）」および国内の障害者施策を推進するとともに、障害者の権利の推進を目的としています。

● 事業 ●

JDF は、次の事業に取り組んでいます。事業推進のための専門委員会を設け、各団体より委員を選任して活動しています。

1. 国連・障害者権利条約の推進
2. 「アジア太平洋障害者の十年」の推進及び「アジア太平洋障害フォーラム（APDF）」に関すること
3. 障害者基本計画ならびに国内の障害者施策の推進
4. 障害者の差別禁止と権利に係る国内法制度の推進
5. その他、目的達成のための事業